



平成25年2月21日

シンポジウム「東アジア飛翔人材を考える」を開催

<概要>

- ・ 経済の一体化が高まりつつある東アジアで活躍する人材とはいかなる人材か。
- ・ 高度な専門教育を行う大学院がいかにしてこうした人材を育てるか。
- ・ 日本、中国、グアムから識者を招き、ともに未来の大学院教育のあり方を考える。
- ・ シンポジウムの成果を組み込み、来年度から「東アジア飛翔プログラム」の実施を検討。

<本文>

古来、東アジアの各地域間では学術や文化の密接な交流が行われてきました。近年は、企業の東アジア域内での国境を超えた生産や販売活動が活発化し、摩擦を伴いつつも、経済の一体化の動きはますます高まっています。こうした時代背景のもと、いわゆる多国籍企業のように、人材登用で国籍が占める重要性は低下し、人材市場は国境を超えたより競争的なものへと変わりつつあります。こうしたなか、それら人材を養成する大学教育のあり方も、変化が迫られているといえます。

本シンポジウムは、東アジアおよびその近隣の各大学が、こうした時代的变化にいかなる対応を行っているのかを報告し、相互に理解を深めながら、ともに今後の大学教育を考えていこうとするものです。そして、ここで特に注目したいのが、大学院教育です。今日のいわば国境を超えた競争の時代にあっては、国境を超えるコミュニケーションスキルが必要であることはもちろん、競争に耐えうるだけの高い技術や専門性も必要となってきます。すなわち、大学院教育もこうした変化に無関係ではいられないのです。ついては、こうした変化に各地の大学院がいかなる対応を行っているのか。各地の大学院が考える東アジアの飛翔人材とはいかなるものか。またいかにしてそうした人材を育成するのか。本シンポジウムはこのような問題について、日本、中国、グアムの識者による報告に耳を傾けながら、参加者同士が自由な意見交換を行うことで、ともに未来の大学院教育のあり方を考えていこうとするものです。

なお本研究科では、本シンポジウムの成果を組み込み、来年度から「東アジア飛翔プログラム」を実施し、岡山と東アジアのあいだを飛翔する人材育成への着手を検討しています。

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授

(氏名) 土屋洋

(電話番号) 086-251-8446

(FAX番号) 086-251-8446

(メール) tsuchiya@okayama-u.ac.jp